

委員会意見要望及び当局処理状況（3月定例会）

R 7. 5. 30

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	意見要望	担当課	処理状況
第39号議案	工事請負変更契約の締結について	7. 2. 28	7. 3. 27	文教民生委員会	<p>本事業は今後の学校再編のモデルとなる重要なプロジェクトであり、既存校舎の損傷による請負金額の変更は理解できるが、低学年棟の完成が延期され、計画通りに進まなかったことは残念である。最も重要なのは子どもたちが安心して通える学校を整備することであり、今後同様の事態がおこらないよう計画段階からの十分な準備や、地元への丁寧な説明、議会への速やかな情報提供を強く要望する。</p>	教育総務課	<p>今回の低学年棟の完成の延期の報告が遅れたことについては、大変申し訳なく思っている。</p> <p>前期児童（1～6年）の引越し時期等については学校側ともよく協議し、子どもたちが安全にまた安心して通える状況を確認した上で決定していきたい。</p> <p>今後は保護者や地元、議会への情報提供についても速やかに、また丁寧に行うよう心掛ける。</p>
第28号議案	令和7年度豊岡市一般会計予算	7. 2. 28	7. 3. 27	予算決算委員会	<p>「超過課税の検討」について、他の自治体を見ると、超過課税は期限を設けて賦課されている例が多い。その時点での財政事情などを踏まえて、賦課する額や期間などを検討し決定することが一般的であるので、今後に向けて十分検討されたい。</p>	財政課	<p>令和6年9月議会の副市長答弁の中でもあったとおり、超過課税は未来永劫にわたってあり続けるものではなく、いずれ見直されなければならないものであると理解しているが、まずは支出抑制を進めてからであると考えている。市の財政事情を勘案し、他自治体の状況も踏まえながら研究していきたい。</p>

				<p>総合健康ゾーン健康増進施設「ウェルストーク豊岡」の改修について、すべての市民に愛され、親しみをもって訪れ、利用される施設とするという謳い文句であるが、利用状況は旧豊岡市民に偏っている現状である。全市域に波及効果があるような施策を考えていただきたい。</p>	健康増進課	<p>「ウェルストーク豊岡」は、介護予防も含め健康・福祉サービスを一体的に提供する拠点施設と位置付けており、2025年度以降は各地域に出向いて、様々な事業の展開を計画している。</p> <p>具体的には、理学療法士、健康運動指導士などの専門職が直接地域に出向き、指導や支援を行う人材派遣事業のほか、市の保健師などの専門職が直接現地に出向く「玄さん元気教室」、「健康づくり応援隊」を継続して実施する。</p> <p>また、生活習慣予防対策として、特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な方を各地域において集団指導する「生活習慣病予防支援事業」、介護予防として、理学療法士が自宅を直接訪問し、身体評価の結果を踏まえ、日常動作等改善のための運動指導を行う「地域リハビリテーション活動支援事業」を新規に実施する。</p> <p>今後も引き続き、全市域に波及効果が及ぶようなイベントなどの実施を検討する。</p>
--	--	--	--	---	-------	--